

第1部会【市民協働部門】 会議概要録

【開催概要】

- 名 称：平成26年度 第1回 東区自治協議会 第1部会
- 日 時：平成26年4月15日（火）午前10時～11時45分
- 場 所：東区プラザ 音楽練習室2
- 出席者：五十嵐委員、大野委員、折笠委員、作左部委員、南委員、
井川委員、湯本委員、佐藤委員、若槻委員、渡辺委員
（事務局）地域課、総務課

【審議内容】

1 平成25年度区自治協議会提案事業の評価

昨年度取り組んだ「災害時の避難・誘導対策推進事業」について、別紙1のとおり評価しました。

2 平成26年度区自治協議会提案事業について

今年度は「地域が行う総合防災体制の確立支援事業」に取り組みます。災害時の避難誘導看板を避難経路に設置し、地域の津波避難訓練に活かします。

今回は看板のデザインや設置方法などを検討しました。

6月16日（月）に行われる市全体の防災訓練までに、大形地区コミュニティ協議会をモデル地区として実施します。

3 その他

次回開催日 平成26年5月13日（火）午前10時から 東区プラザ講座室1

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	災害時の避難・誘導対策推進事業 【事業費予算 1,600千円】
事業目的・概要	<p>【目的】 「災害に強いまちづくり」を目指すため、地域の実情にあった避難計画づくりに対して自治協議会から助言を行い、地域の防災力を高める。</p> <p>【概要】 下記により、地域の課題解決や、防災力(自分の命は自分で守る)を高める。 1) 地域におけるワークショップの実施 2) 防災フォーラム「みんなで考えよう自助の力～今考えるいのちを守る防災対策～」の開催 3) 冊子「みんなで考えよう自助の力～今考えるいのちを守る防災対策～」の作成</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>1) 地域におけるワークショップの実施 対象: 4コミュニティ協議会(東山の下地区, 下山地区, 大形地区, 南中野山小学校区) 実施回数: 10回 参加者: 282人 内容: 「避難マップづくり」を通じて、地域の課題を把握するとともに、参加者の防災に対する意識を高める。</p> <p>2) 防災フォーラム「みんなで考えよう自助の力～今考えるいのちを守る防災対策～」の開催 日時: 平成26年1月19日(日)午後1時30分～4時30分 会場: 東区プラザホール(東区役所2階) 参加者: 約250人 内容: ①第1部 基調講演「新潟市防災計画からみる公助・共助・自助」 ②第2部 パネルディスカッション「みんなで考えよう自助の力」</p> <p>3) 冊子「みんなで考えよう自助の力～今考えるいのちを守る防災対策～」作成 発行部数: 170部(主な配布先: 各コミュニティ協議会) 内容: 災害発生時に自分自身、家族、地域がどのように対応し行動したらよいかをまとめた冊子</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>1) ワークショップについて ・実施地区が12コミュニティ協議会のうち4コミュニティ協議会だったので、より多くのコミュニティ協議会に参加してもらうことが望ましかった。 ・地域の現状を確認し課題を把握することを通して、地域住民の防災に対する意識を高めることができた。</p> <p>2) 防災フォーラムについて ・コミュニティ協議会の協力のもと、多くの方にご参加いただいた。 ・基調講演もパネルディスカッションも充実した内容で、参加者が公助・共助・自助に対する理解を深めることができた。</p> <p>3) 冊子について ・もっと早い段階から内容を検討し、委員の問題意識に基づく地域からの発信ができれば良かった。また、多くの住民に届けるために、発行部数を多くできれば良かった。 ・「公助」、「共助」、「自助」について分かりやすくまとめた冊子を、各コミュニティ協議会で今後有効に活用してもらいたい。</p> <p>4) 全体を通じて ・東日本大震災を機に防災に対する関心が高まっている中でこの当該事業は、とても有意義なものとなった。来年度も、地域の防災力を向上させるために、事業を推進していきたい。 ・自治協議会と地域と行政が協働しながら事業を実施することが出来たことは、大きな成果と言える。</p>
備考	